

国立能楽堂

平成三十一年

三月

March 2019
National Noh Theatre



能
桜

川

中村 邦生 (喜多流)

狂言
寝音曲

山本 泰太郎 (天藏流)

【普及公演】3月9日(土)午後1時開演
解説・能楽あんない
桜を花と散らす事
能「桜川」の美と理

大谷 節子 (成城大学教授)



能
藤 戸

小林 与志郎 (宝生流)

狂言
雪打

野村 万作 (和泉流)

【定例公演】3月6日(水)午後1時開演



【特別公演】3月21日(木・祝)午後1時開演

能
知 章

井上 裕久 (観世流)

狂言
し びり

茂山 千作 (天藏流)

能
藍 染 川

本田 光洋 (金春流)
飯富 雅介

【企画公演】3月28日(木)午後6時開演

◎能を再発見する／寺社と能・清涼寺

嗟峨大念佛狂言

釈迦如来

解説
天野 文雄 (藤巻形前大学教授)

能
百 万

観世 喜正

観阿弥時代の



予約開始
2月9日(土) 午前10時～
窓口販売開始=2月10日(日)
<チケット売場 午前10時～午後6時>
※窓口販売用に別枠でのお取り置きは
ございません。

【電話】国立劇場チケットセンター (午前10時～午後6時)
0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]
【インターネット】※詳細は下記ホームページをご覧ください。
<http://ticket.ntj.jac.go.jp/> (パソコン)
<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> (スマートフォン)
プレイガイド=チケットぴあ 0570-02-9999 <http://pia.jp/e+> (イープラス) <http://eplus.jp/>

入場料金
<定例・普及公演> 正面¥4,900・脇正面¥3,200・中正面¥2,700
学生: 脇正面¥2,200・中正面¥1,900
<特別公演> 正面¥7,700・脇正面¥6,200・中正面¥4,600
学生: 脇正面¥4,300・中正面¥3,200
<企画公演> 正面¥6,300・脇正面¥4,800・中正面¥3,200
学生: 脇正面¥3,400・中正面¥2,200
※全公演字幕付です(日本語・英語)。※障害者の方は2割引です。車椅子などの詳細については
チケットセンターまでお問い合わせください。※出演者などの変更の場合はご了承ください。

定例公演

3月6日(水)午後1時開演

雪打

シテ/老僧 野村万作
アド/若者 内藤博連
小アド/百姓 深田治憲
小アド/女 高野和憲

能【宝生流】

藤戸

前シテ/漁師の霊 小林与志郎
後シテ/漁師の霊 山弘
ワキ/佐々木盛綱 村山受壽
ワキツレ/從者 高安壽
アイ/從者 野村萬齋
笛 貞光訓義
小鼓 幸正佳
大鼓 柿原崇志
後見 中村孝太郎
當山 淳司 朝倉俊樹
内藤 飛能 當山孝道
小倉伸二郎 今井泰行
大友 順 金井雄資

終演予定午後3時15分頃

能楽研修発表会「第18回青翔会」

3月12日(火)午後1時開演

舞囃子「弓八幡」「屋島」「小塩」
狂言「和泉流 佐渡狐 上杉 啓太
能【宝生流】海人 佐野玄宜
(入場料並)

正面 1500円
脇正面 1000円
中正面 700円
*字幕表示はありません

普及公演

3月9日(土)午後1時開演

桜を花と散らす事

大谷節子 (成城大学教授)

寝音曲

シテ/太郎冠者 山本泰太郎
アド/主 山本凜太郎

能【喜多流】

桜川

シテ/桜子の母 中村邦生
子方/桜子 大村稔生
ワキ/磯部寺住僧 工藤和哉
ワキツレ/從僧 大日方善博
ワキツレ/從僧 梅村昌功
ワキツレ/從僧 館田信太郎
後見 杉村昌功
大鼓 住駒匡彦
小鼓 石井保彦
塩津 圭介 友枝雄人
佐々木多門 香川靖嗣
内田 成信 友枝昭世
友枝 真也 大村定

終演予定午後3時30分頃

特別公演

3月21日(木・祝)午後1時開演

知章

前シテ/平知章 井上裕久
後シテ/平知章 網谷正美
ワキ/旅僧 安田上裕
アイ/浦人 網谷正美

藍染川

前シテ/梅千代の母 本村光洋
後シテ/天満天神 飯村雅大
子方/梅千代 中村光洋
ワキ/宰府神主 飯村雅大
ワキツレ/左近尉 岡原光洋
ワキツレ/太刀持 茂山千作
アイ/神主の妻 竹市千五郎

しびり

シテ/太郎冠者 丸山千作
アド/主 丸山千作

能【金春流】

前シテ/梅千代の母 本村光洋
後シテ/天満天神 飯村雅大
子方/梅千代 中村光洋
ワキ/宰府神主 飯村雅大
ワキツレ/左近尉 岡原光洋
ワキツレ/太刀持 茂山千作
アイ/神主の妻 竹市千五郎

終演予定午後4時15分頃

企画公演

3月28日(木)午後6時開演

嗟峨大念佛狂言

嗟峨大念佛狂言保存会

解説 芳野明 (嵯峨美術大学教授)

釈迦如来

解説 天野文雄 (京都造形芸術大学教授)

百万

シテ/百万の子 観世喜正
ワキ/僧 福王和歌
ワキツレ/從僧 福王和歌
ワキツレ/從僧 福王和歌
アイ/門前の者 高澤祐介

能【再発見する】

寺社と能・清涼寺
嗟峨大念佛狂言
釈迦如来
百万
しびり
藍染川
知章
雪打

終演予定午後9時頃

雪打 寺の門前の若者が積もった雪を隣家に掃き込んでいたと隣家の男と争いに。そこにやって来た僧はなぜか若者の肩ばかり持ち...

戦の陰で失われた命への祈り
藤戸 源平の合戦の陰で口封じのため佐々木盛綱に殺された若き漁師。激しく憤る漁師の母に迫られた盛綱が甲斐の管絃譜を催すと、漁師の亡霊が立ち現れます。

寝音曲 主人に謡を謡えと命令された太郎冠者は、酒や膝枕がないと謡えないと嘘をついてその場を免れようとしていますが...

桜川 我が子桜子を探し求め、物狂いとなって九州から常陸の桜川までやって来た母。花見の日、桜の花びらを川面から掬う母は桜子と劇的な再会を果たします。

藤戸 須磨を訪れた旅僧の前に平知章の霊が現れ、父・知盛を庇い討ち死にした自らの最期を語ります。戦で佛く命を落とした平家の若武者を描く稀曲です。

しびり 主人に使いを頼まれた太郎冠者は、持病のしびり(痺れ)で歩けないと嘘をつきますが...

藍染川 京の女が太宰府の神主との間にできた子を伴い神主を訪ねますが、神主の妻の偽りに絶望し、藍染川へ身を投げます。神主が祝詞を捧げると天満天神が現れ女は蘇生します。国立能楽堂主催公演では初上演です。

能を再発見する/寺社と能・清涼寺
平成二十四年から三年にわたり六演目を上演した、既存の解釈に捉われず新たな視点で作品を捉える「能を再発見する」シリーズ。今回はその中から「百万」を再演します。

また「寺社と能」とのダブル企画として、百万母子の再会が清涼寺の大念仏会であることにちなみ、清涼寺に伝わる嗟峨大念佛狂言も併演します。

釈迦如来 母娘がお釈迦様の像を拝みながらやって来ます。美しい母がお参りするとお釈迦様は嬉しそうに動き出しますが、娘が拝むと...

百万 曲舞の名手・百万は生き別れた我が子を探し彷徨いますが、嗟峨清涼寺の大念仏会の日には再会します。現在、能「歌占」の中で舞われる「地獄の曲舞」を挿入し、車の作り物を出す、観阿弥時代の演出を想定した上演です。